



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様がお健やかに穏やかに過ごされますよう心よりお祈り申し上げます。

昨年は殊の外長い一年のように感じました。コロナ感染第5波に伴う多くの規制と不自由・不安。ワクチン接種、東京オリンピック、漸くコロナ感染が収まりを見せて来たところへオミクロン株・・・とりあえず国内の往来は自由な状態で迎えた年末年始、皆様の生活も多面において影響を受けた一年であったこととお察しいたします。嘗てあった普通の日常を再び手にすることを願いつつ・・・

久しぶりにクリスマス前から大雪となり、十分な積雪量となっています。各スキー場もゲレンデコンディション良好。みそら野管理事務所も道路除雪、個別駐車場除雪が続いています。

ラニーニャ現象により日本列島は寒い冬になるという予報を見聞きしても、暖冬慣れした身にとってはどこか半信半疑でしたが、降り続く雪に安堵とすでに草臥と。

降雪に恵まれているとともに気温の低下も顕著です。このような冬に起きること、気を付けていただきたい事をお伝えします。

別荘の設備凍結について

★気温は日中もマイナス、時には-10℃を下回るような日が続いている現在、凍結によるトラブルが多発しています。水道・給湯器・時には排水までが凍ります。不在時の水抜きは鉄則ですが、滞在中でも最も冷え込む朝方には各箇所凍結が発生。凍結防止帯の電源に不具合はありませんか？暖房はトイレ、洗面所、風呂場等水回りのある個所にも届いていますか？

★お願い

退去の際には必ず水抜きを行ってください。管理事務所は退去点検に入りますが、最近、水抜きを全くしていない別荘が見受けられます。ここまで冷え込む場合、ほんの数時間で凍結が始まります。退去点検に入るまでのタイムラグがありますので、各人様による退去時の水抜きが重要であることをお伝えします。若い世代、ご親戚・ご友人等の別荘使用の際には、ぜひ水抜きを覚えていただくようにご指導ください。

大切なご連絡

★全国ニュースでも取り上げられていますが、コロナ禍による世界的な影響として、給湯器・ウォシュレット等の部品調達ができなくなっていて、特に給湯器が手に入らなくなっています。凍結による故障があっても、当面器具の調達ができないと設備業者さんからも重ねて連絡が入っています。給湯器、ボイラー等が壊れても直ぐには交換できないのでご注意ください。

コロナ禍はこのようなところへも直撃していることを実感。

そういえば、昨年は、ウッドショックという耳慣れない言葉と共に、建築資材の調達難と急騰も顕著でした。新築、増改築の方は、工期の遅れや価格の上昇に翻弄されるケースもあったようです。

★ゴミの分別へのご協力を重ねてお願いします。特にビンの色別仕訳が出来ずに混在気味です。仕訳ブースの色別の指示をご確認ください。並びに、ラベルを剥し中を洗ってから投入をお願いします。

久しぶりに別荘のオーナーさんに寄稿していただきました。長年みそら野別荘地で時間を紡いでこられた方です。さあ皆さんも山田建己さんの誘いでみそら野の森へ・・・🌲🏠🌲🌲🌲🏠🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲

みそら野の森で

みそら野別荘地五竜北通り

山田建己

みそら野別荘地にご縁を得てから早や 46 年。現役時代はせいぜい年に数回しか滞在できなかったので、老後はゆっくり白馬での時間を楽しみたいと、退職を前に建て替えてからもう20年以上が経ってしまった。お蔭様で、夏冬だけでなく、以前は知らなかった初夏の新緑や秋の紅葉の美しさも知ることができた。

そして、面白い事にここには何回来ても毎年新しい発見や経験があり、毎回新鮮な思いをする。今年は冬の間中、毎朝小鳥たちに餌をやっていたせいか、近くのナラの木に括り付けた長年空き家だった巣箱に春、やっとシジュウカラのカップルが入居してくれた。毎朝、朝食を取りながら窓からの観察が日課になった。やがてヒナたちの黄色い鳴き声が聞こえ、親鳥がせわしなく餌を運び、カラスの攻撃にも耐え、ついに巣立ちの時を迎えた。初めて見る外の世界にひるみながらも飛び立つ子、ぎこちなく下に落ちてしまう子など一部始終を毎日楽しませてもらった。

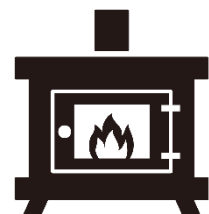
また、愛犬のラブラドル・レトリバーのお蔭でもあるが、毎回新しい人と知り合いになれるのも、白馬の魅力の一つだ。別荘に来られる方はやはり自然やスキーが好きで話が弾む。また永住している方は実に自由な生き方をしている人が多くて、型にはまったサラリーマン生活をしてきた私にとって、話が面白く刺激を受けることがとても多い。

最近では外国からの人が増えているのも、コロナ禍で一時的な減少はあるものの、この白馬の環境が海外からも注目されている証だと思う。日本にいと当たり前で気が付かないが、都会からのこのアクセスで、これだけのパウダースノー、麓からいきなり聳える3000m級の山々の景観は世界にもあまり例がない。先日、ノルウエーから来た人が、真冬の抜けるような青空と太陽に感激していたが、これも貴重な観光資源なのだ、と改めて気が付いた。

今年の夏は近くの貸し別荘に長期滞在していたデンマーク人家族がいて、我が家の長女がコペンハーゲンに在住していることもあって話をするようになった。そのうちに、なんとこの奥さんの親友がデンマークで我が家の長女と仕事を通じての知り合いであることが分かり、ビックリ。世界は案外狭いものだね、と笑いあった。このご家族はすっかり白馬が気に入って、貸別荘を1年間契約にして、東京から足繁く通って来ている。今年のクリスマスに一時帰国した際、娘を訪ねてくださるそうだ。

都会で生活していると案外、新しい人と知り合う機会が少ない。この年齢になると毎年の年賀状の挨拶さえやめる人が多く、友人、知人も減る一方なので、白馬の生活は実に新鮮に感じる。これもコロナのお蔭で、こちらの生活が長くなって気が付いた事である。

今年もまた薪ストーブの炎をながめながら、翌日のスキーに思いをはせる季節が近づいてきた。まだまだ当分はこのみそら野生活を愛犬と共に家族皆で楽しみたい。



猿がいっぱい

みそら野別荘地は猿の群れに気に入られたようです?!?!
嘗ては大町の扇沢へ行く途中あたりが北限とされていた猿、
ここ 15 年くらいの間にみそら野別荘地の中にも群れで現れ
るようになりました。自然との共存のある一面と言えましょうか。
絶対に餌をやらさないでください。軒下に干し柿を吊るす、
食べ物や生ごみを外に置く等も猿をご招待してしまいます。
管理事務所では、通報を受けるとサルを群れを爆竹で追い
払い、山へ追う試みをしています。皆様も夫々にご注意
ください🐒🐒🐒🐒🐒🐒🐒🐒🐒🐒🐒🐒🐒🐒🐒

みそら野在住のリス

みそら野別荘地内を元気にちよろちよろ
走り回るのは『ホンドリス』
自宅の出窓の外に台を作り、好物のク
ルミを置いて、観察に余念のないスタッフ
がいます。硬いクルミもお気に入りの枝の
上で 20 分ほどかけてかりかりと割るそう
です。その姿・・・可愛らしくて究極の癒し。

仮称 みそら野キッチンへ向けて

<<デリバリー専門のみそら野キッチン>>

経産省の中小企業等事業再構築促進補助金
(新規事業への補助)の申請をしていましたが、
無事に採択されました。夏にはプレスタート、次の
冬の本格稼働を目指し、別荘地の方々へデリバ
リーで食事をお届けする事業をスタートさせること
になりました。次の夏号で詳細をお伝えできるは
ずです。皆様のニーズにより近いものとなるよう
に、そこを大切に考えていくつもりです。地産を主
に勿論美味しさを追及、みそら野別荘地に所縁
ある東京で活躍中のフードコーディネーターのKさ
んにプロデュース&実際の調理&スタッフ指導して
いただきます。

時には別荘での食事作りや繁忙期のレストラン
予約からの解放のお手伝いができれば・・・という
思いをここ数年温めていたところ、政府からの
助成金によって事業化。



New open Sanfermo Pizza et BBQ

細野筋のモンピジョンとプレリーの間にピザレストランがオープンしました。

馬蹄型のバーカウンター10席を中心とした、天井が高く通りに面した大きな窓で開放感のある造り。

ランチタイムの予約はできませんが、ディナータイムは予約をしてから行くのがお勧めです。

看板のピザは楕円形でイタリアンは生地がもちもち、もう一種類はクリスピー。

つい残ってしまう端っこも香ばしくて最後まで美味しい！ランチセットはピザ・スープ・デザートがセットで2,000円～。ディナーはサラダやお肉のメニューもあり、デザートも美味しいので締めには是非。ドリンクメニューはクラフトビールや地酒長野県産ワインもあり充実、これからお肉のメニューも増えていくとの事。

席は多くないのでフラッと立ち寄って開いていたならラッキーくらいの気軽さで入れるカジュアルな、でも本格的なピザも美味しいお酒も飲める、みそら野にまたイイお店ができました♪

2021 後半 白馬・みそら野不動産について

- ① 新型コロナ感染拡大による海外との往来がストップしている状態は続いています、不動産の動きは、国内需要によって活発です。個人住宅、個人別荘、個人別荘と貸別荘の両様、様々です。
- ② 売り物件は白馬全体並びにみそら野別荘地ともかなり少なくなっています。公開する前に水面下で、購入希望者リストに添って、または近隣の方へ丁寧に営業をしているという現状です。
- ③ みそら野別荘地の査定価格は上げ基調。場所と条件によって上げ幅は違いますが、上方へ。これに伴い成約価格(実勢価格)も確実に上がってきています。
- ④ 一昨年は一瞬停滞を見せた新築、昨年はウッドショックにも関わらず建築数が多くなっています。
- ⑤ 東京等他地域の不動産業者から、不動産を売ませんか??買い取ります!!等の DM がお手元に届いているようです。ご不明、ご不安事項がある場合は、まずは、みそら野管理事務所へご相談ください

雑記帳 P.1

古くからの別荘を売買するにあたり、ご家族から貴重な蔵書を寄贈いただくことがあります。本を所有されていた方のみそら野山荘暮らしの時間・ひいては一人の人生を想像させる蔵書との出会いには心震える思いがします。アルプという山の文芸誌をご存じの方も多いかと思います。1958-3 第 1 号発行、1983-2 終刊。25 年間にわたり 300 号を数えた誌名のごとく山の雑誌。並外れて美しく、並外れて高価な雑誌だったと評されています。山の雑誌だが山の案内はしない、広告は一切載せない。山を思い山に寄せる随筆が夢のように封じ込められている雑誌。体裁だけでなく、その中にある世界を並外れて美しいと評していると捉えます。この全号とともに、山溪の創刊号からある時期まで、作家による山岳随筆の数々、深田久弥、串田孫一、ヘディンの全集・・・今西錦司編・・・アルプスの山懐にあるみそら野別荘地にとって～レガシーとなるような蔵書。また、別の方々からも純文学の全集等の寄贈をいただきました。仮称みそら野本箱(文庫)の夢想は、形にする前に素晴らしい本達が急かしてくれるような・・・『アルプ』等、あまりに貴重で、貸し出しには馴染まないものもありますが、まずは、みそら野管理事務所の 2 階で静かに手に取って読んで頂く環境をみそら野文庫に先んじて整えたいと考えています。



雑記帳 P.2

12 月のある日、長野県の文学・歴史研修の一環として南信州(14 市町村の総称)を案内してもらった機会がありました。

南信州・・・長野県は南北に長く、気候も風土も方言も見える山も違ってきます。高速を座光寺で降り、寒風と青空のもと、元善光寺からスタート、天竜川を渡り喬木村の鳩椋十記念館～山峡へ分け入るように遠山郷へ、スタジオジブリの宮崎駿監督が心惹かれたという、神々の集う霜月祭りの集落を縫うように日本のチロルと呼ばれる下栗の里へ、ここはまさに天空の里、深く切れ込んだ谷、急傾斜地に寄り添うようにある集落と耕地、南アルプス聖岳(3013m)を中心に連なるを望む絶景・・・深田久弥が、『下栗ほど美しく平和な山村を私はほかに知らない。』と絶賛した文章はここのことなのだ・・・。イメージとしては、チロルというより、規模は小さいけれどネパールの谷に似ているような深さを感じました。南信州出身の友曰く、『かつて父は米の採れない下栗へ米を担いで届けていた・・・素晴らしいところだと聞かされて育った』と。その後、天龍村まで南下して、阿南、下条、飯田、高森、松川・・・明らかに北とは違う風景のなか、途中歴史、風土の見どころ数か所へ立ち寄りながら雪雲に覆われている北へ向かって帰路を急ぎました。長野県に住まいを得てすでに 30 年、まだまだ知らない処、知らないことばかりなり、もっと信州を多方面、多面的に知る、感じる、学ぶを愉しむ(^^)♪